

仕事と介護の両立支援講座

管理職の離職防止のための仕組み作り 【参加費無料】

* 申込締切 2017年 3月 6日 (月) 定員50名 (先着順、定員に達し次第、受付を終了させていただきます。)

「仕事と介護の両立支援等実態調査結果」(愛知県 平成28年2月)では、超高齢社会において仕事と介護の両立を図ることが必要と9割以上の企業が回答しています。しかし過去3年間、介護の問題を抱えている従業員がいるかどうか等、特に取り組んでいない企業が過半数以上です。この矛盾を早く無くすことが介護離職を防ぎます。

今回のセミナーは、管理職本人が離職しないために必要なこと、管理職として部下を離職させないことを意識した仕組み作りとは何なのか、という視点でお送りいたします。

2017年 3月10日 (金) 13:30~16:00 (開場13:15)

日本特殊陶業市民会館 第一会議室

名古屋市中区金山一丁目5番1号 TEL 052 (331) 2141

第1部 《ゲスト講演》

『管理職の私が介護離職してわかったこと』

講師：井手 聡太郎 氏 (株式会社ウィッティー 代表取締役)

第2部 《両立支援の仕組み作り》

- ・ 両立支援のあり方とやり方
- ・ 他社の取組み

講師：一般社団法人ワークライフバランス東海
介護と仕事の両立支援チーム



FAX 052-265-8610

**第1部****《ゲスト講演》****井手 聡太郎 氏** (株式会社ウェッティー 代表取締役)

1961年生まれ、学習院大学法学部卒業後、東京電力入社。

東電は勤続29年3ヶ月、うち管理職を17年勤める。営業部・広報部・燃料部など本社機能を中心に広範に経験。

管理職任用後に妻が手術のため二度長期入院、手足に若干の障害が残る。育児や家事を分担するため短時間勤務を選択し、評価が下がっていく事を実感。

短時間勤務を解いた事で残業時間が増加し、定年までの勤続に不安を持ち始める。その後、妻が屋根裏部屋から転落し頭部を強打。障害が重くなり要介護となり退職を決意。

第2部**《両立支援の仕組み作り》****仕事と介護の両立支援チーム** (ワークライフバランスコンサルタント)**豊岡 敬子** (キャリアコンサルタント・研修講師)**橋野 由利子** (働く人の心の保健室 あとむらぼ代表、産業カウンセラー)**永谷 律子** (よつば社労士事務所、特定社会保険労務士)**吉岡 規子** (Beeパートナーズ社労士事務所、特定社会保険労務士)

家族介護、働きながら介護する両立者支援、被介護者とのふれあい等、各人の経験を活かし、“介護をしながら働く時代”を多様な面からサポートするために一般社団法人WLB東海の中で発足したチームです。

管理職の離職防止のための仕組み作り 参加申込書*ご記入の上、FAX (052-265-8610) 又はメール (wlb_tokai@outlook.com) でお申込み下さい。

| | | |
|-----------|------------|--------|
| 会社 団体名 | | |
| 住所 | 〒 | |
| 連絡先 | TEL FAX | E-mail |
| | 氏名 | 所属・役職 |
| 参加者 | 氏名 | 所属・役職 |

*参加受付証はFAXまたはメールでお送りいたします。

*この申込書でご提供いただいた個人情報は、本セミナーの受講者資料として使用し、本人の同意なく目的以外の利用を行うことはありません。